

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 千葉県立佐倉高等学校 志賀 裕樹
2. 講師氏名: Dr. Maria Vanessa Balois
3. 同行者氏名: なし
4. 実施日時: 平成 29年 11月 28日 (火) 14:20 ~ 16:30
5. 参加生徒: 2年生 37人、 1年生 0人、 0年生 0人 (合計 37人)
備考: 理数科2年生1クラス(3名公欠)
6. 講演題目: How to "see" extremely small things and what we can learn from the nano-world
7. 講演概要:

講師の母国であるフィリピンの地域・習慣・食生活などについて、生徒に尋ねながら紹介した。その後、自分が研究者となるまでのプロセスや高校生時代にどのようなことを感じ考えていたのかを本校の校是を基に講演した。

最後に、原子間力顕微鏡のセンサー部の研究・開発を分かりやすい内容にかみ砕き、分光器を作成させ、実際にどのような仕組みで感知しているのかを体感させた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90分 (休憩含め) 質疑応答時間 30分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、簡易分光器の作成及び観察
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
いませんでした。ただし、分かりやすい言葉、速度で話して頂けたので問題ありません。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師から事前に送付されてきた資料について読ませ、重点になるポイントは解説を加えた。
10. その他特筆すべき事項:

休憩時間も生徒の中に入り込み、話しかけ生徒達の興味関心を引き出す真摯な姿勢は特筆すべきものであった。